

# トヨタ純正

## リモートスタート

## 取付要領書

このたびは、トヨタ純正リモートスタートをお買い上げいただきましてありがとうございます。  
本書は、リモートスタートの取付要領について記載してあります。  
取り付けの前に必ずお読みいただき、正しい取り付けを行ってください。  
【別紙の取扱書は、必ずお客様にお渡しください。】

### 品 番

|     |             |
|-----|-------------|
| 品 番 | 085A0-B2120 |
|-----|-------------|

### 構 成 部 品 名

 【取り付け前に以下の表に従って部品がそろっているかご確認ください】

| No. | 品 名           | 個数 | 補修品<br>有無 |
|-----|---------------|----|-----------|
|     |               |    |           |
| ①   | リモコン (電池内蔵×2) | 1  | 有         |
| ②   | コントローラー       | 1  | 有         |
| ③   | ハーネスA         | 1  | 有         |
| ④   | ハーネスB         | 1  | 有         |
| ⑤   | クランプ          | 11 | 無         |
| ⑥   | エレクトロタップ      | 6  | 無         |
| ⑦   | 両面テープ         | 2  | 無         |
|     | 取付要領書 (WEB)   | 1  | 無         |
|     | 取扱書 (WEB)     | 1  | 無         |

### 品 名 及 び 補 修 品 番

 【各補修品を交換した場合、登録作業が必要となります。】  
登録方法については、サービス資料をご参照ください。

| No. | 品 名         | 補修品番        | 個数 | 備考   |
|-----|-------------|-------------|----|------|
| ①   | リモコン        | 085A2-B1040 | 1  | 電池含む |
| ②   | コントローラー     | 085A2-B5021 | 1  | ――   |
| ③+④ | ハーネスA+ハーネスB | 085A3-B5022 | 1  | ――   |

### 使用工具・用意するもの

一般工具、ハサミ、ペーパーウェス、脱脂剤等、ビニールテープ、保護テープ、ドライヤー等

# トヨタ自動車株式会社

## 取り付け上の注意

この取付要領書では安全な作業をしていただくため、特にお守りいただきたいことを次のマークで表示しています。

**⚠注意** … 注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車を破損するなどの恐れがあります。

**ℹアドバイス** … スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

1. 本文中の **⚠注意** は必ず取り付けに反映させて作業を行ってください。もし **⚠注意** を無視して取り付けると製品の機能を阻害するばかりでなく、車両故障につながる恐れがあります。
2. 取付作業を容易に進行するために **ℹアドバイス** をお読みください。
3. 車両部品の取りはずしに際しては、クリップ、スクリュー、ボルト類は再使用しますので、紛失や損傷させないよう部品毎に整理し、復元作業時には間違えないよう配慮してください。また、車両に傷を付けないよう取り扱いには、十分注意してください。
4. 電動パーキングブレーキ付車は必ずスイッチの表示灯が点灯している事を確認してからバッテリー (-) 端子をはずしてください。
5. 作業前にパーキングブレーキが掛かっている事を確認してください。
6. ラゲージルーム内にバッテリーが搭載されている車両はバッテリー (-) 端子をはずした状態でバックドアを閉めると再度バッテリー (-) 端子を接続しないと開かなくなりますので注意してください。

### 取り付ける前に

・車両のドアロック、パワーウィンド、ランプ、ホーン、ワイパー等の装置が正常に作動するか確認しておく。



・必ず、バッテリーの(-)ケーブルははずしてから作業を行う。



・大切な車を守るために必要部分にカバーを取り付ける。

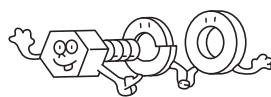


### 部品の取り付けは

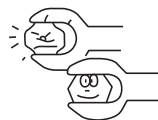
・運転のじゃまや、居住性をそこわない場所を選ぶ。



・ボルト、ナットの締め付けは必ず規定のものを使用する。



・ボルト、ナットの締め付けには寸法にあった工具を使用し、トルク指示のあるものはトルクレンチを使用する。



・車両のボルト、ナットなどを使用して共締めする場合、ステアリングやブレーキ燃料系など重要部品のものには使用しない。



・締め付けを行う際、ワイヤーハーネスなど挟み込んでいないことを確認してから行う。

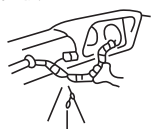


・取り付け穴をあける場合、必ず裏側に何も無いことを確認すること。



### 配線は

・車両のワイヤーハーネスはコネクタのかん合不良や損傷防止のため引っ張るなど力をかけないこと。



・配線作業時にコネクターなどはブラブラしないように幹線にテープ巻するかクランプなどを使用して固定すること。



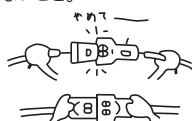
・ワイヤーハーネスは取付部品での噛み込み、板金エッジ可動部品、樹脂バリと干渉しない場所を配線し、確実に固定すること。



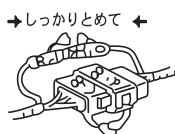
・室外から室内への配線にはグロメットを使用する等確実な防水対策を施すこと。



・コネクターをはずす場合はコネクター本体を持ち、ハーネスを引っ張らないこと。



・コネクターやターミナルは、確実に接続し、必ず確認を行うこと。

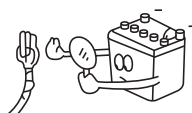


・バンドクランプを使用した箇所は、必ずバンドクランプ先端の余り部を切断すること。



### 取り付けが終わったら

・バッテリーのケーブルを復元する前に配線状態を確認する。



・取り付けた用品の作動確認を行うと同時に、車両の機器、装置が正常に作動することを確認する。



### リモコンは

・工具で触れたりしないこと。傷の原因となります。



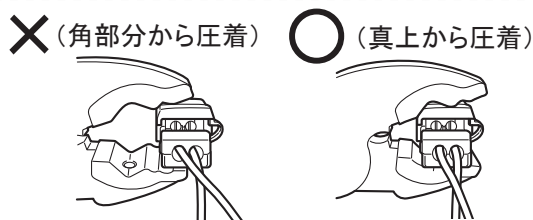
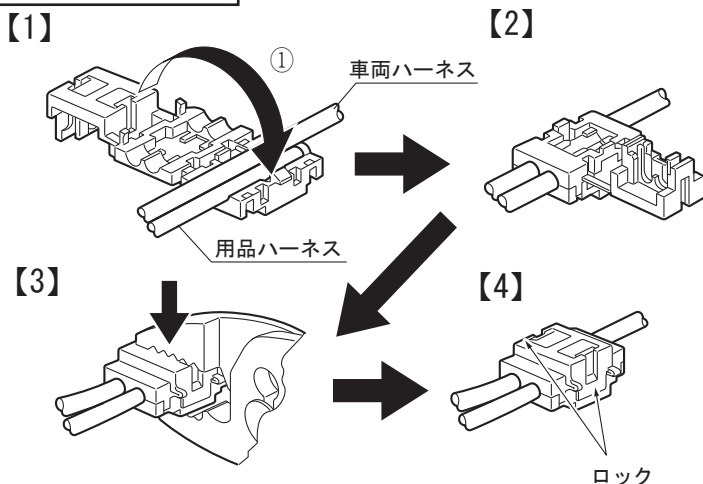
## エレクトロタップの接続方法

### エレクトロタップの使用上の注意事項

- (1) 車両のビニールチューブ等をカットする際は、車両ハーネスを傷付けないよう充分注意してください。
- (2) エレクトロタップは、他の用品が装着されている場合でも必ず、車両ハーネスに接続してください。
- (3) エレクトロタップの接続時に、クリック音と合わせてロックが確実にかん合した事を確認してください。
- (4) 接続するコネクターの端子番号及び、用品ハーネスと車両ハーネスの線色を確認し、誤った接続をしないよう充分注意してください。
- (5) 同一コネクタに複数のエレクトロタップを接続する場合は、接続位置をずらしてください。
- (6) ヒンジ部が破損しても確実にロックできれば性能上問題ありません。
- (7) 一度使用したエレクトロタップは再使用しないでください。誤って接続した場合、エレクトロタップを車両ハーネスに付けたまま用品ハーネスを切断し、ビニールテープで絶縁処理してください。
- (8) 指定以外のエレクトロタップを使用しないでください。電線の切断や接触不良になるおそれがあります。

### エレクトロタップの接続手順

#### エレクトロタップ接続方法



1. 接続する車両側ハーネスに接続スペースが無い場合は、車両側ハーネスの外装 (ビニールチューブ、ビニールテープ等) をカットしてください。
2. エレクトロタップの溝にハーネスをセットし【1】、①のようにはめ込み電線を仮固定します【2】。
3. プライヤーで左右ロックが掛かるまで完全に圧着します【3】、【4】。  
(クリック音を確認)

#### △注意

- ・圧着は斜め方向に力が加わらないように確実に行ってください。斜め方向に力が加わった場合、圧着不良となるおそれがあります。

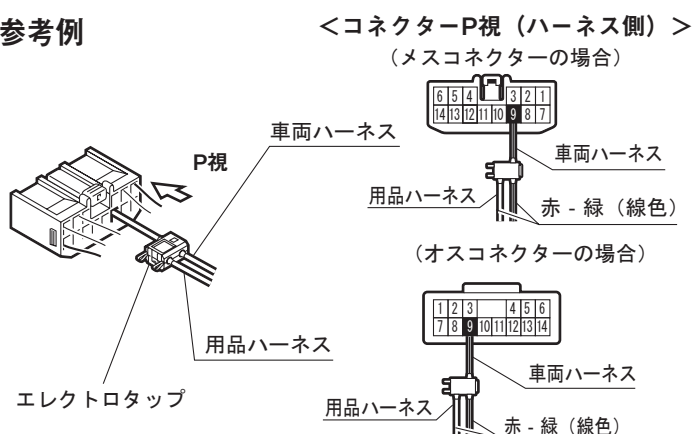
4. エレクトロタップにビニールテープを他の車両ハーネスごと巻き付けてください。

#### △注意

- ・車両配線色は色が変わることがありますので、念の為配線図集を確認してください。

## エレクトロタップの接続部の標記について

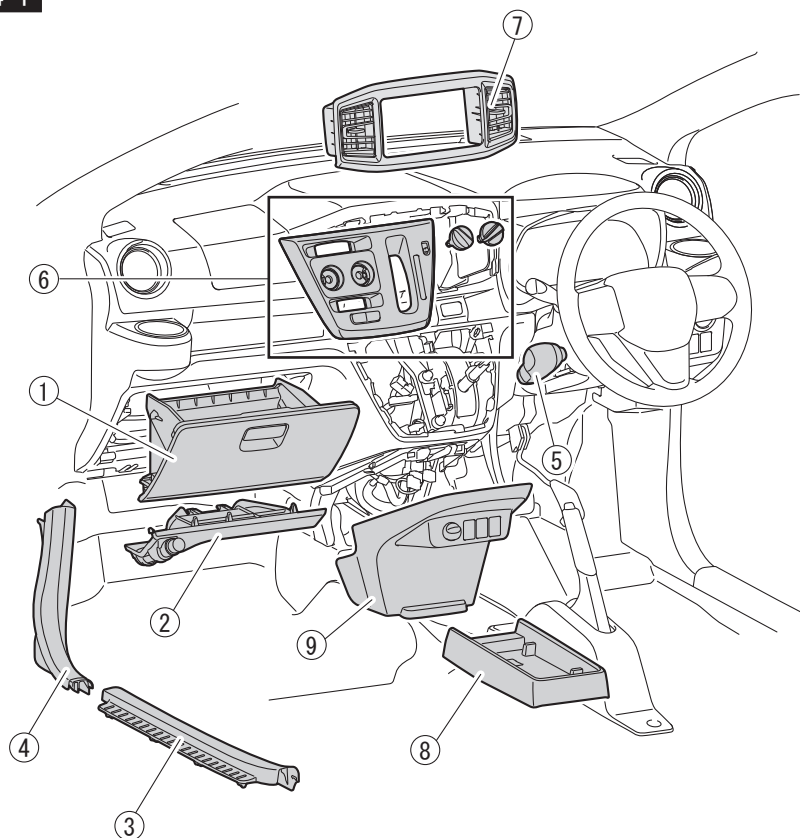
#### 参考例



本文中、エレクトロタップを接続する箇所のコネクタイラストについては、全て参考例のように、ハーネス側 (P視) から見た標記に統一しています。  
コネクタのオス・メス、端子番号を確認の上、正しく接続してください。(参考として、車両及び用品ハーネスの線色も標記しています。)

## 車両部品の取りはずし

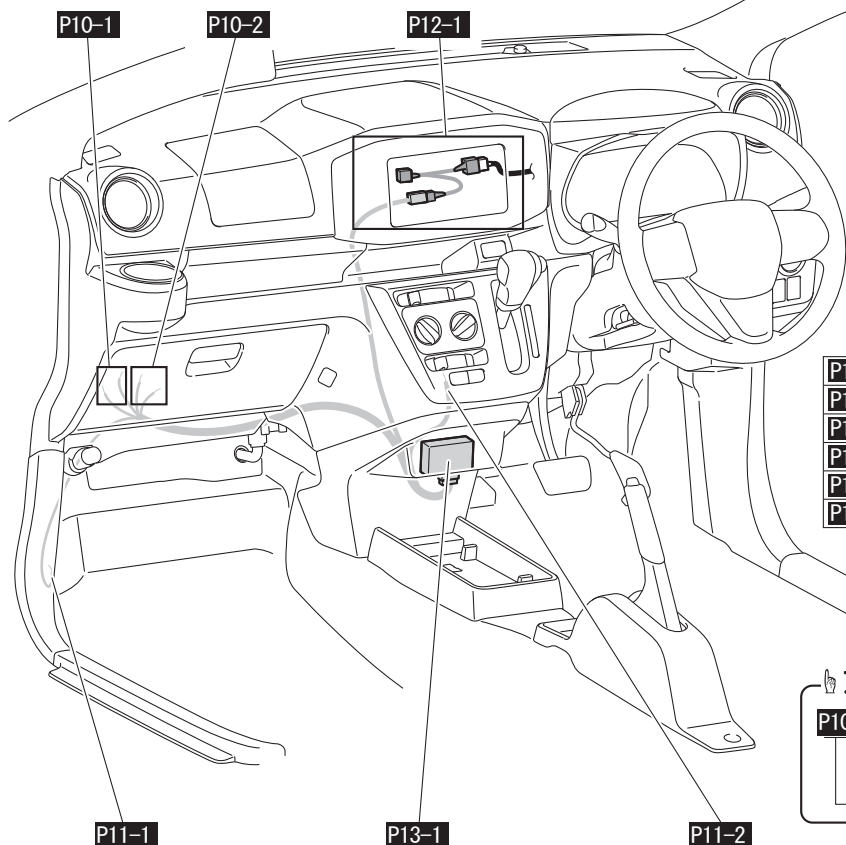
P4-1



| No. | 取り外し部品名称           |
|-----|--------------------|
| ①   | グローブボックス           |
| ②   | アンダーカバー            |
| ③   | フロントドアスカッププレート(LH) |
| ④   | カウルサイドトリム(LH)      |
| ⑤   | シフトレバーノブ S/A       |
| ⑥   | センタークラスターパネル(ロア)   |
| ⑦   | フィニッシュパネル          |
| ⑧   | フロアコンソール           |
| ⑨   | インストルメントロアカバー      |

## 配線概要

P4-2



|       |                        |
|-------|------------------------|
| P10-1 | ジャンクションブロックの配線 (白色13P) |
| P10-2 | ジャンクションブロックの配線 (黒色16P) |
| P11-1 | ワイヤ to ワイヤの配線 (白色8P)   |
| P11-2 | アースコード                 |
| P12-1 | ハーネスB                  |
| P13-1 | コントローラー                |

### アドバイス

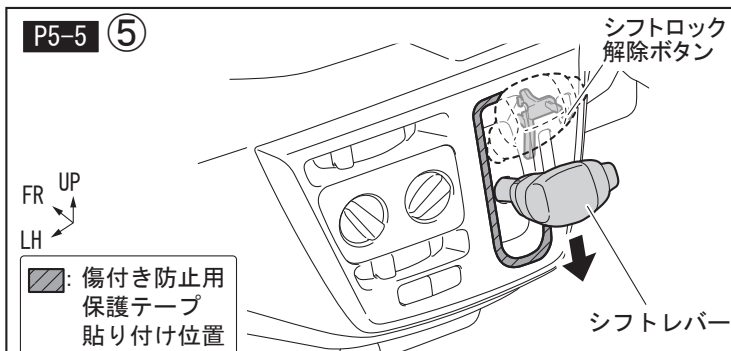
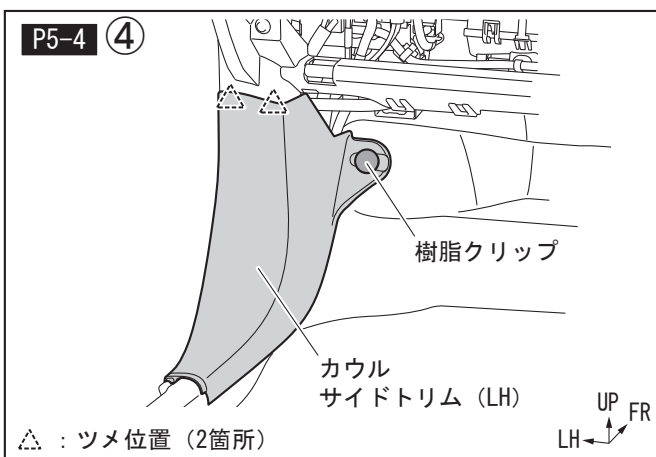
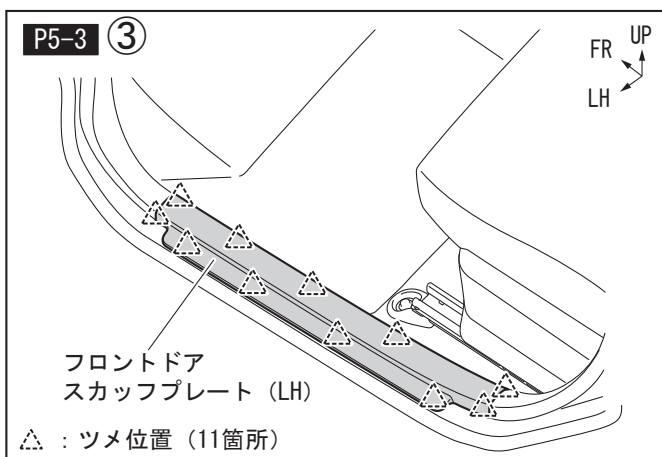
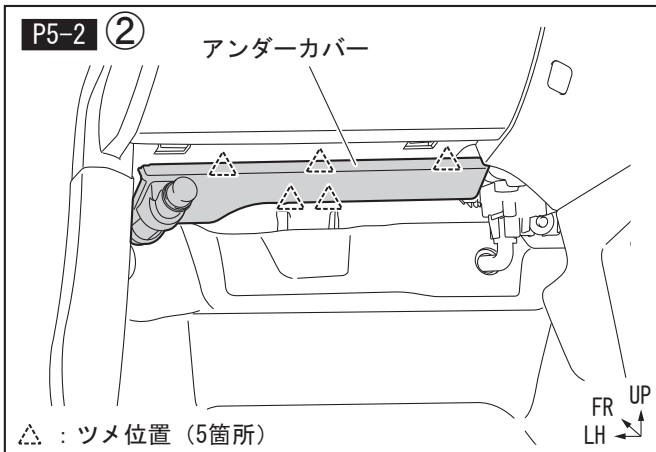
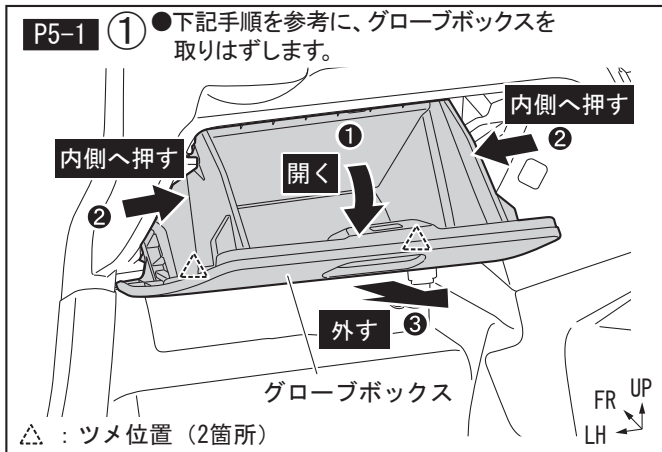
P10-1 は、本文の記載と対応しています。

記載箇所

記載ページ

## 車両部品の取りはずし要領

※車両部品の取りはずしに必要なコネクターの接続をはずしてください。



- シフトロック解除ボタンを押しながら、シフトレバーをNポジションにする。

- 矢印①の方向にシフトレバーラッチを広げる。
- 矢印②の方向にスライドさせてシフトレバーラッチを取りはずす。

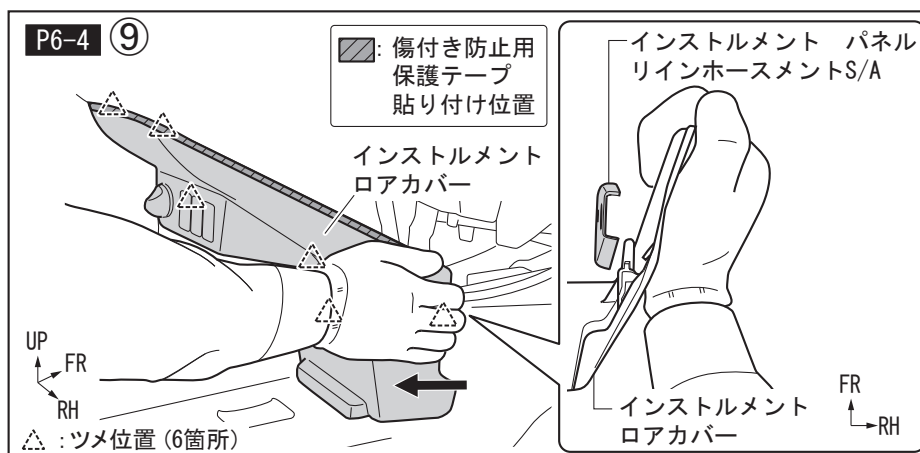
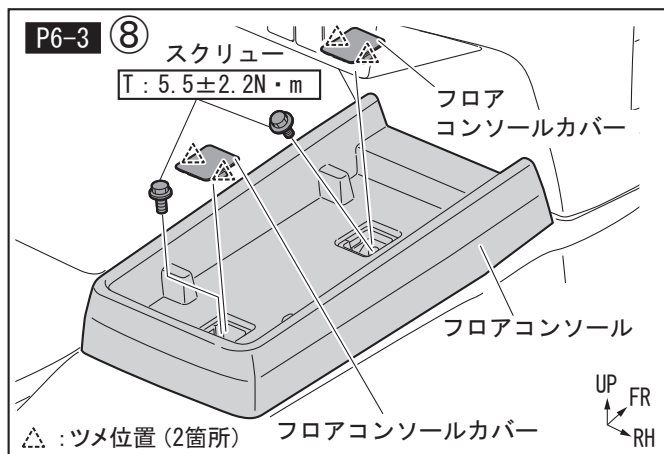
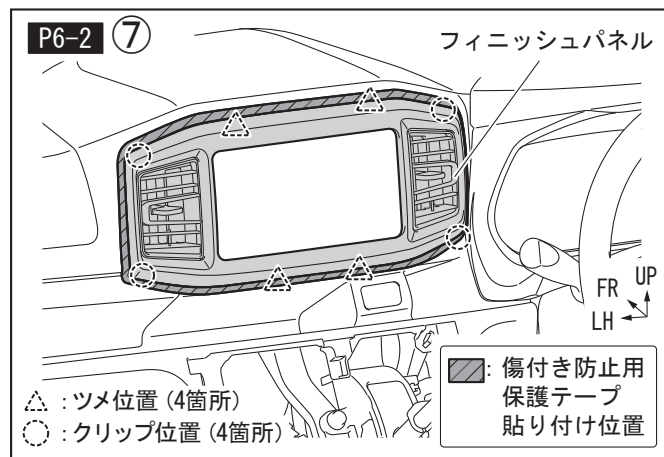
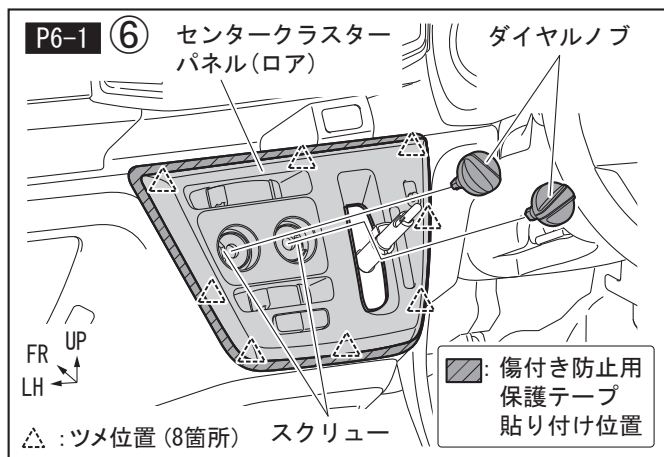
### ⚠注意

- ・シフトレバーラッチの破損の原因となるため、マイナスドライバー等を使用しないでください。

- シフトレバーリングを取りはずし、シフトレバーノブS/Aを取りはずす。

### ⚠注意

- ・シフトレバーリング変形の原因となるため、マイナスドライバー等を使用しないでください。
- ・シフトレバーリングを取り付けた際、図に示すシフトレバーリングの寸法Aを測定してください。  
基準 : 11.9~12.9mm  
寸法Aが基準値からはずれている場合はシフトレバーリングを新品に交換してください。



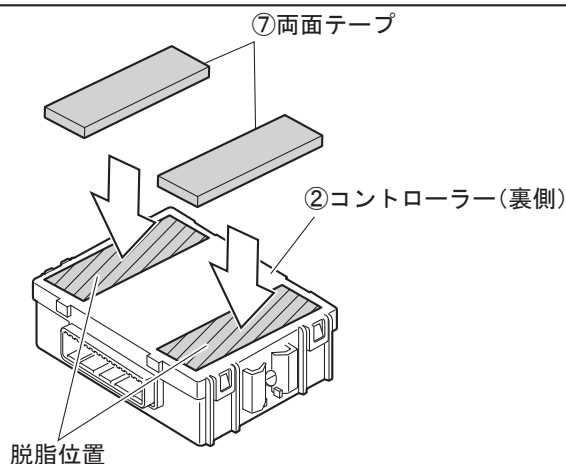
(1) 軍手等を着用し、矢印の方向にスライドさせて取りはずす。

### ⚠️ 注意

- ・ インストルメントロアカバーの取りはずし作業時に、手・指がインストルメントパネルリンホースメントS/Aと接触し手を切るおそれがあるため、軍手等を着用し、作業を行ってください。

## 作業前準備

P7-1



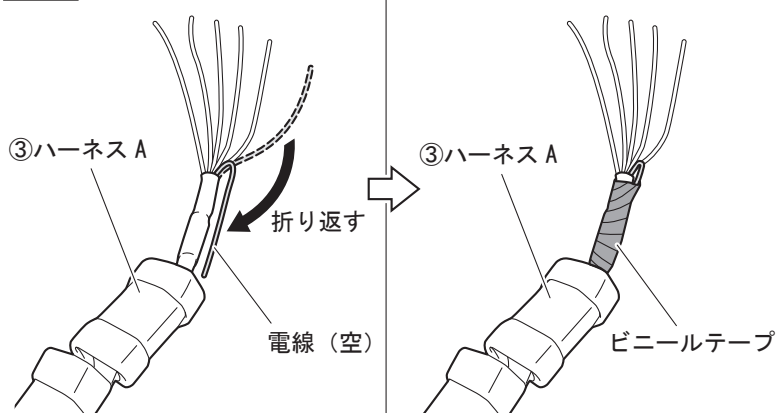
### コントローラーの準備

- ②コントローラーを裏返し、⑦両面テープ貼り付け位置を脱脂剤等で脱脂し、②コントローラー裏面に⑦両面テープを貼り付けます。

#### ⚠注意

- ・⑦両面テープ接着時、環境温度が15℃以下の場合はドライヤー等で接着相手面および⑦両面テープを温めてください。  
(ドライヤー等で約30秒間、人肌(約40℃)程度を目安にしてください。)

P7-2



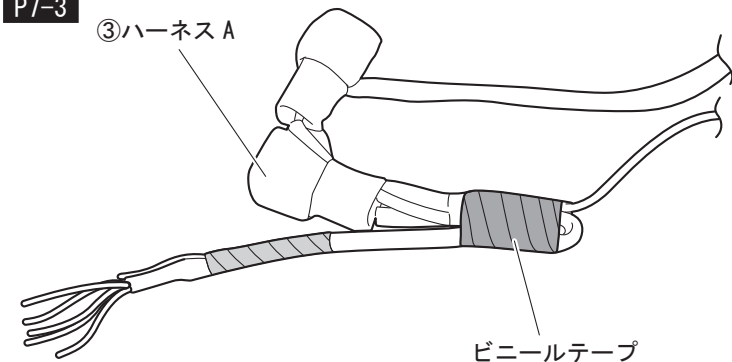
### ハーネスAの加工

- (1) ③ハーネスAの電線(空色)は使用しませんので、左図のように折り返し、ビニールテープで巻いてください。

#### ⚠注意

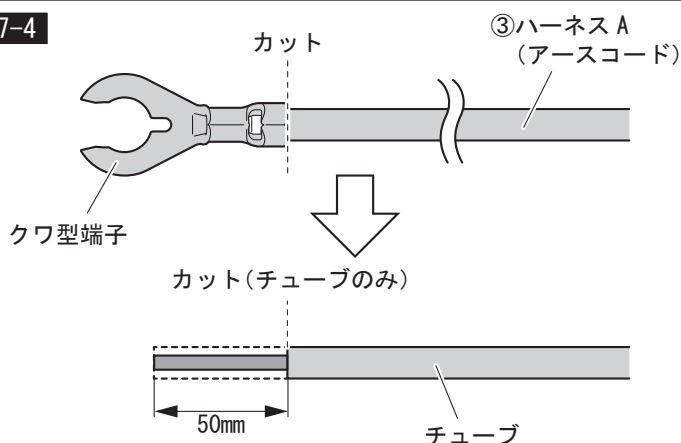
- ・先端部分までビニールテープを巻き、絶縁処理を行ってください。

P7-3



- (2) ③ハーネスAをを左図のように折り返し、ビニールテープで巻いてください。

P7-4



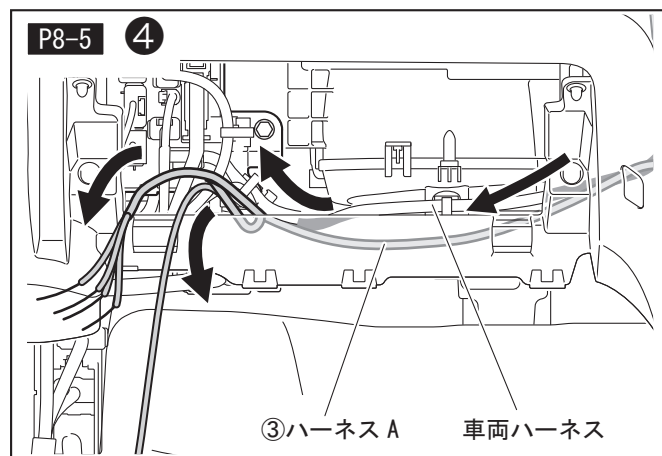
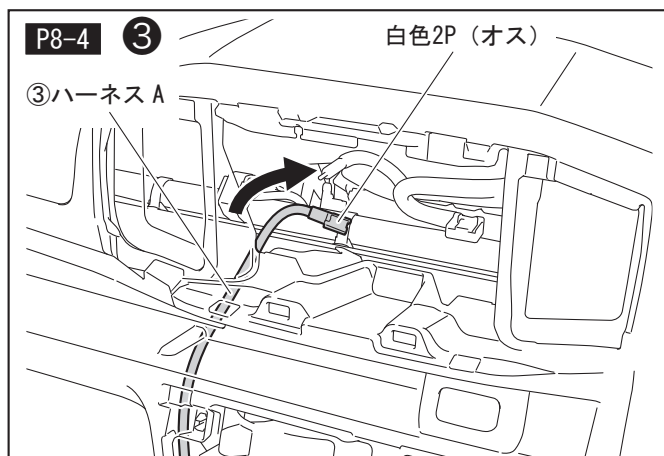
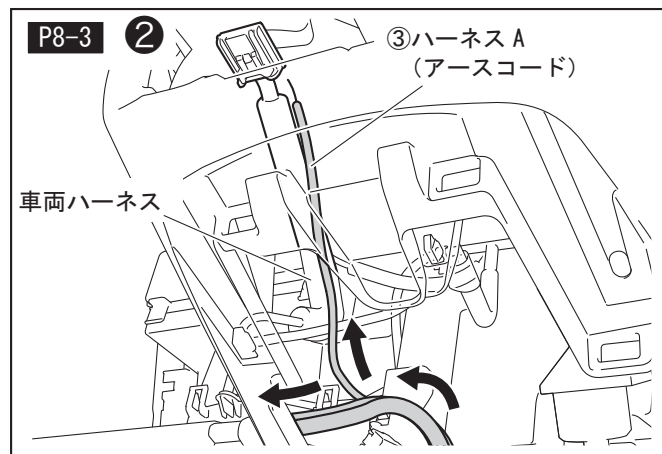
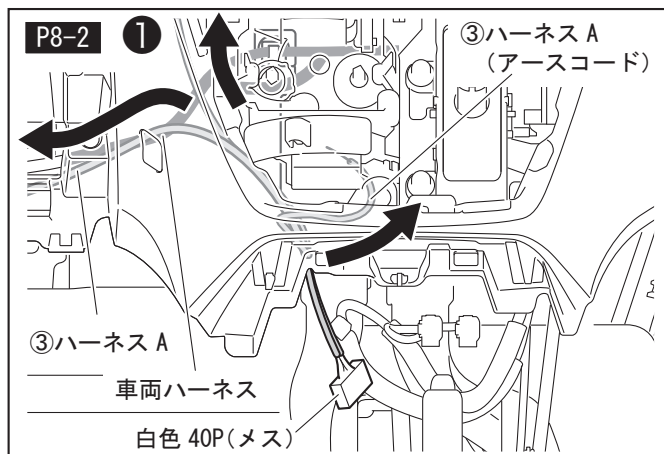
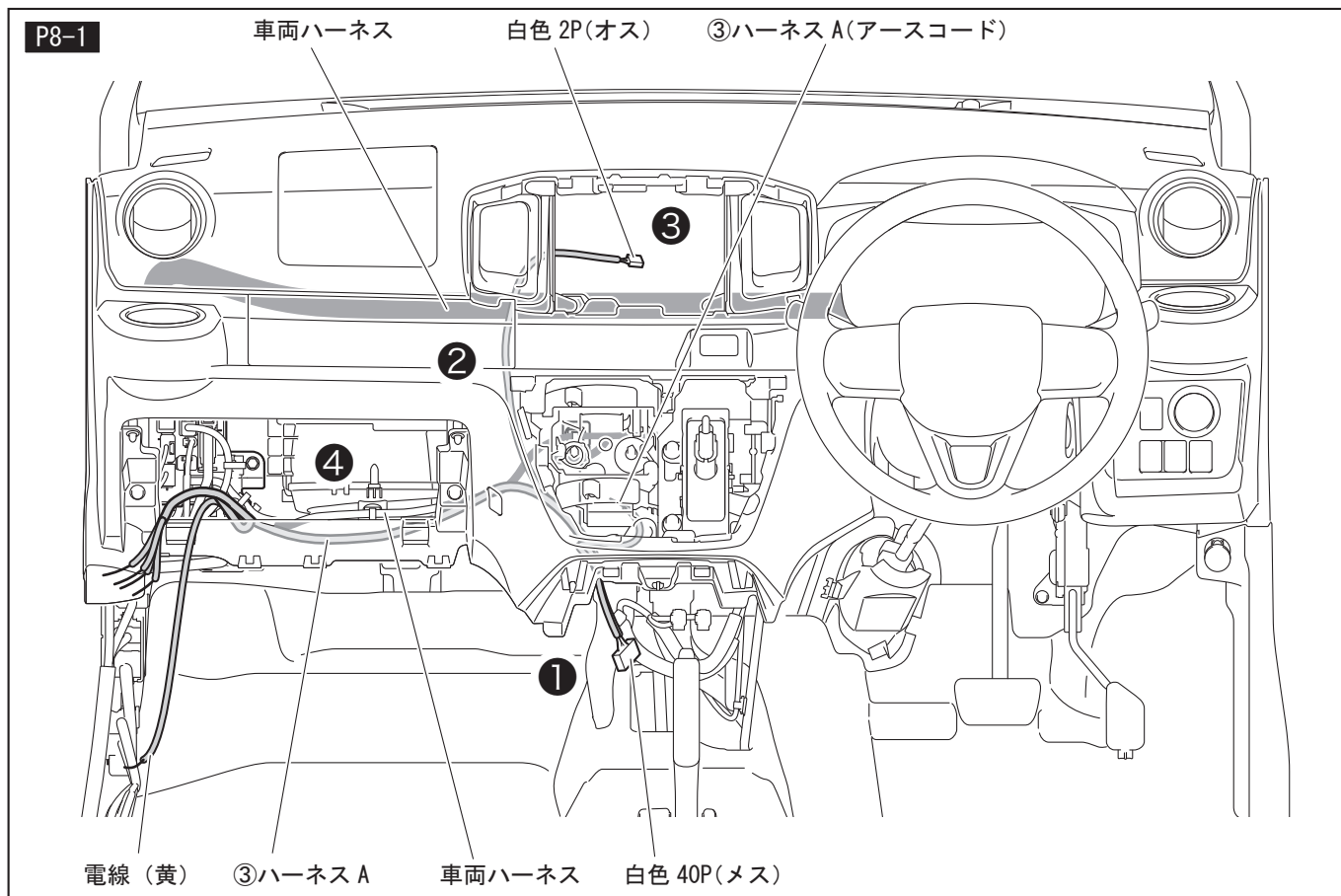
### アースコードの加工

- (1) ③ハーネスAのアースコード先端のクワ型端子をカットします。
- (2) (1) でカットした③ハーネスAのアースコード先端からチューブのみを50mmカットします。

#### ⚠注意

- ・③ハーネスAごとカットせずにチューブのみカットしてください。

## ハーネス A の仮配線



## ハーネス A の配線

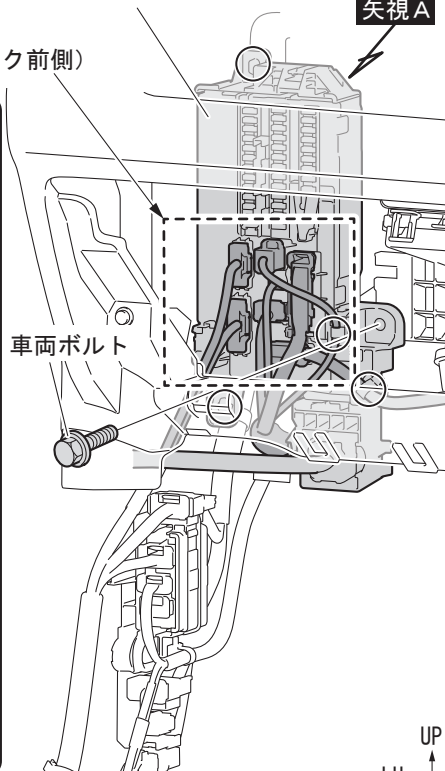
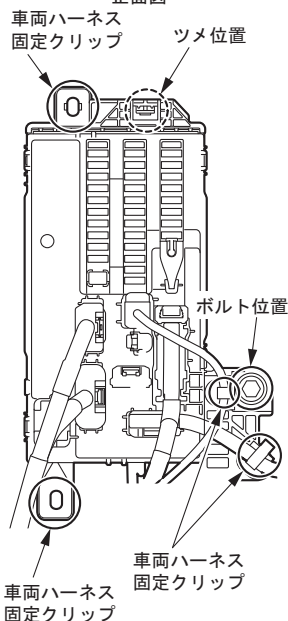
P9-1

ジャンクションブロック

コネクター類  
(ジャンクションブロック前側)

矢視 A

ジャンクションブロック  
正面図



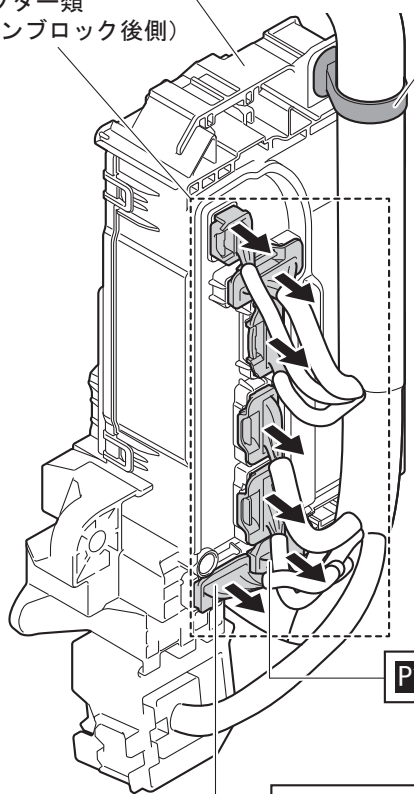
○: ツメ位置 (1箇所)

矢視 A

ジャンクションブロック

車両ハーネス  
固定クリップ

コネクター類  
(ジャンクションブロック後側)



P10-2 黒色 16P

P10-1 白色 13P

UP

RH

FR

## ジャンクションブロックの取りはずし

### アドバイス

- ・ジャンクションブロックの取りはずし手順の詳細については各設定車両のサービスマニュアル修理書を参照してください。

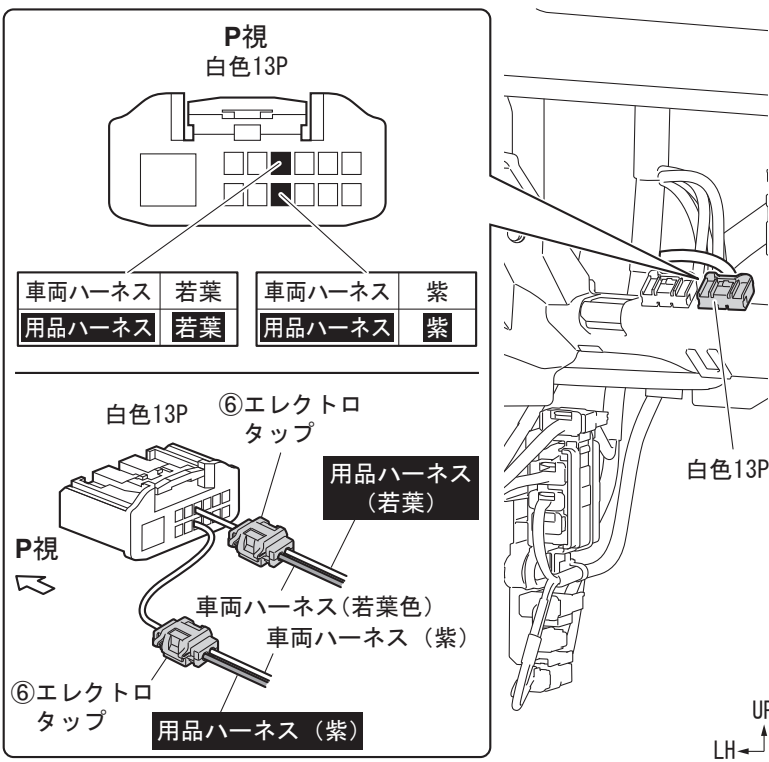
- (1) 左図を参照し、車両ハーネス固定クリップのかん合 (4ヶ所) と車両ボルト (1ヶ所) を取りはずした後、ジャンクションブロックのツメのかん合をはずします。
- (2) 左図及び **矢視 A** を参照し、ジャンクションブロックに接続されているコネクターを全て取りはずします。

### 注意

- ・コネクター取りはずしの際は左図を参照し、コネクターの位置を確認してから作業を行ってください。

※各コネクタ位置についてはP.9をご参照してください。

#### P10-1



#### ジャンクションブロックの配線 (白色13P)

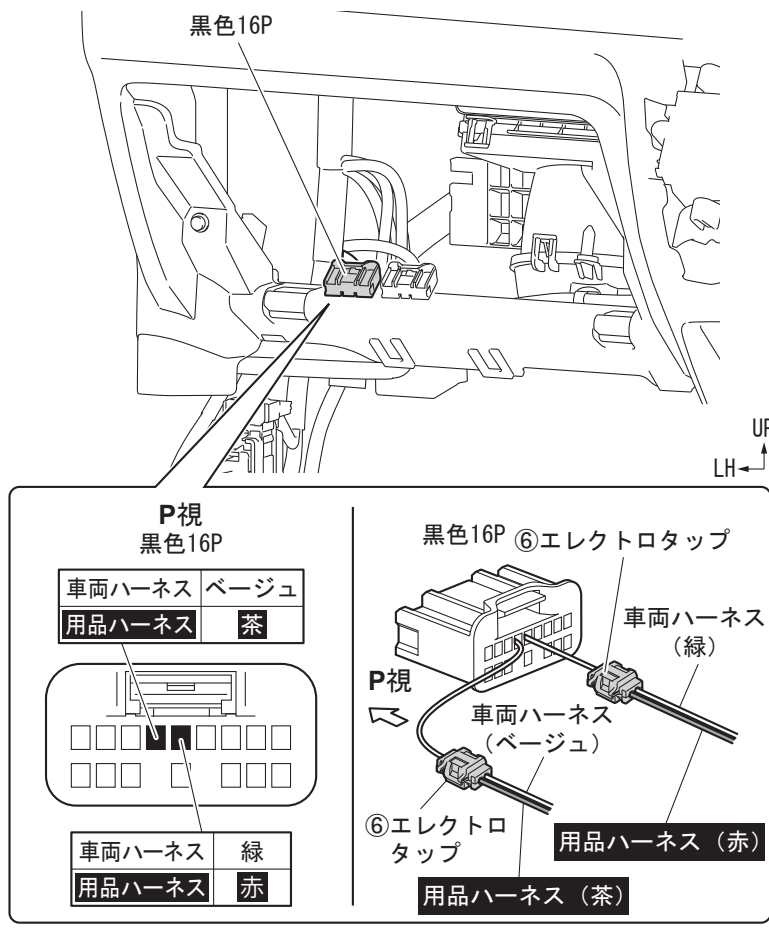
- ③ハーネスAの電線 (若葉) を白色13Pコネクタの図の位置【電線 (若葉)】に⑥エレクトロタップで接続します。

#### アドバイス

- ・エレクトロタップの接続作業は3ページをご参照ください。(以下同様)

- ③ハーネスAの電線 (紫) を白色13Pコネクタの図の位置【電線 (紫)】に⑥エレクトロタップで接続します。

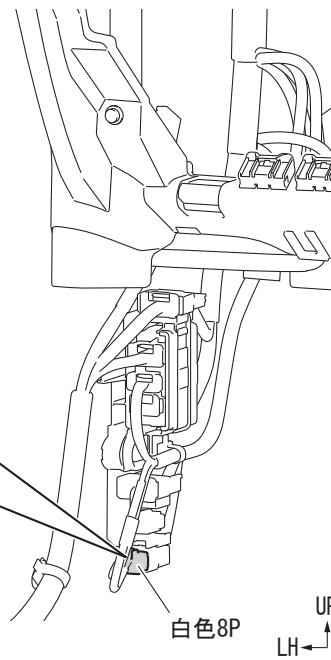
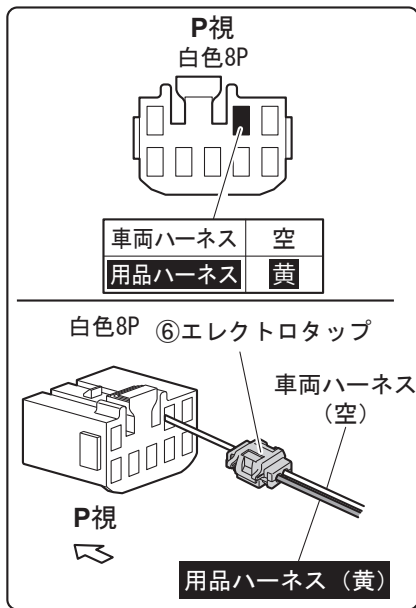
#### P10-2



#### ジャンクションブロックの配線 (黒色16P)

- ③ハーネスAの電線 (茶) を黒色16Pコネクタの図の位置【電線 (ベージュ)】に⑥エレクトロタップで接続します。
- ③ハーネスAの電線 (赤) を黒色16Pコネクタの図の位置【電線 (緑)】に⑥エレクトロタップで接続します。

P11-1



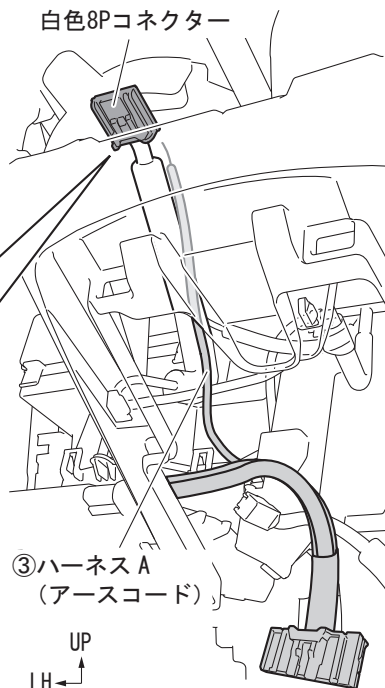
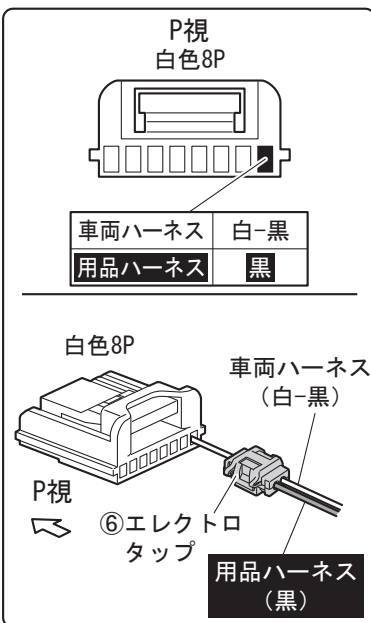
## ワイヤ to ワイヤの配線 (白色8P)

- (1) ジャンクションブロック下の白色8Pコネクタを取りはずします。
- (2) ③ハーネスAの電線 (黄) を白色8Pコネクタの図の位置【電線 (空)】に⑥エレクトロタップで接続します。
- (3) 取りはずしと逆手順でジャンクションブロックを復元します。

### アドバイス

- ・ジャンクションブロックの復元手順の詳細については各設定車両のサービスマニュアル修理書を参照してください。

P11-2

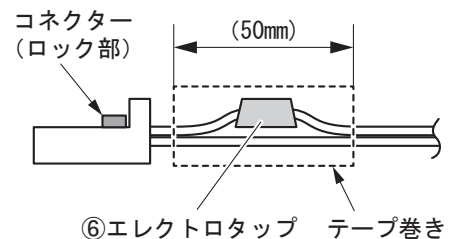


## アースコード

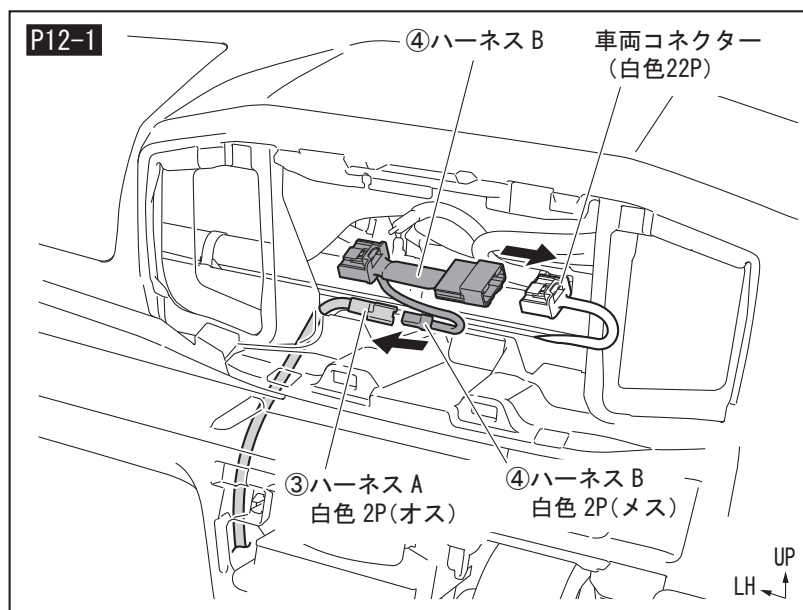
- (1) ③ハーネスAの電線 (黒) を白色8Pコネクタの図の位置【電線 (白-黒)】に⑥エレクトロタップで接続します。

### 注意

- ・⑥エレクトロタップにビニールテープを巻く際、車両コネクタのロック部側に⑥エレクトロタップがくるように巻き付けてください。



## ハーネスBの配線



## ハーネスBの取り付け

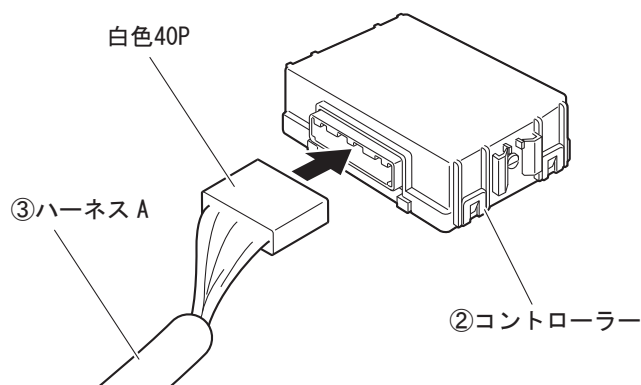
(1) 左図を参照し、各コネクタを④ハーネスBに取り付けます。

### ⚠注意

- ・コネクタはカチンと音がするまで確実に接続してください。
- ・コネクタ接続後、コネクタがはずれないことを確認してください。

## コントローラーの取り付け及び接続

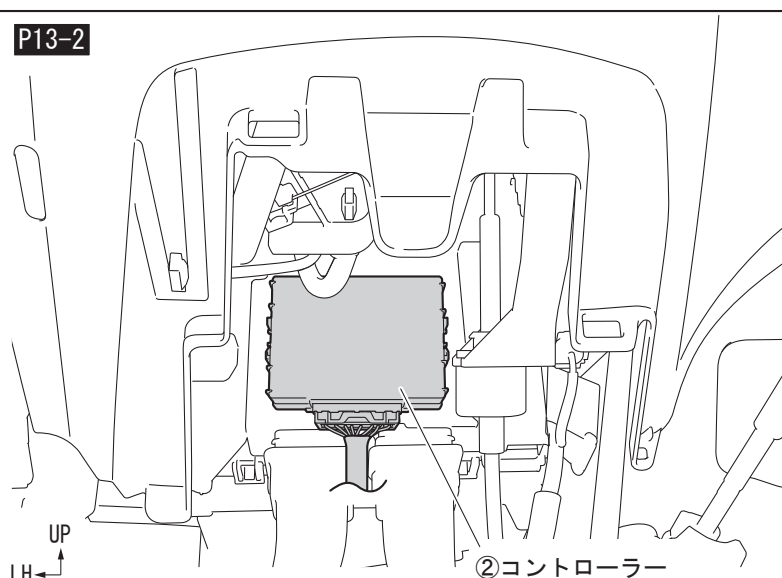
P13-1



### コントローラーの取り付け

- (1) ②コントローラーに③ハーネスAのコネクターを接続します。

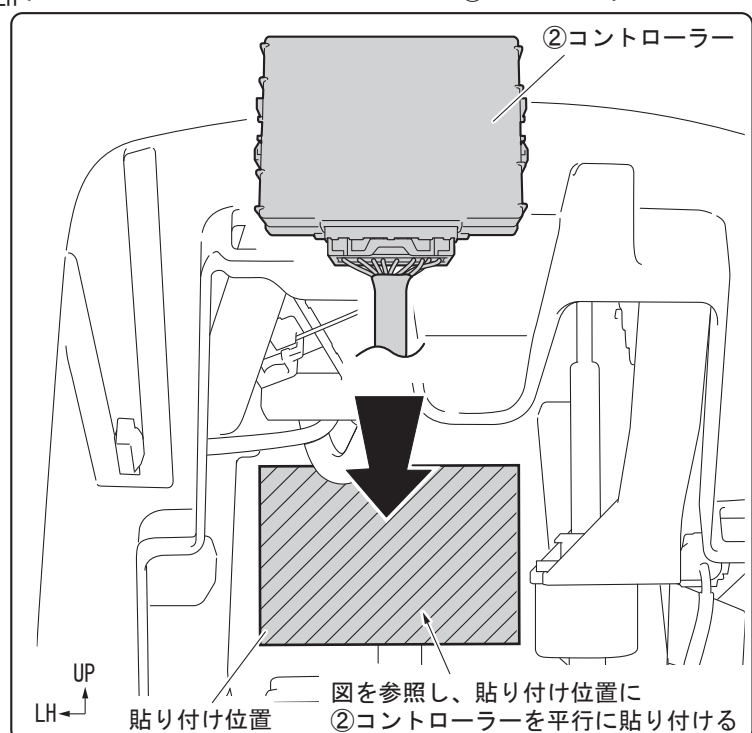
P13-2



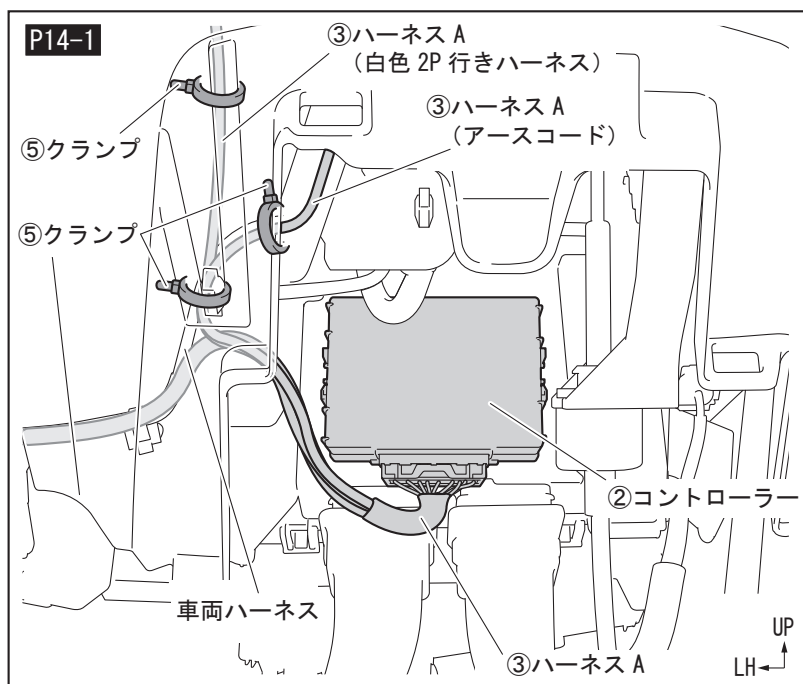
- (2) 脱脂剤等で左図貼り付け位置を脱脂し、②コントローラーが容易に脱落しないように圧着します。

#### ⚠注意

- ・ ②コントローラーの取り付けの際は②コントローラーのコネクターの向きに注意して作業を行ってください。
- ・ ⑦両面テープ接着時、環境温度が15℃以下の場合はドライヤー等で接着相手面および⑦両面テープを温めてください。  
(ドライヤー等で約30秒間、人肌(約40℃)程度を目安にしてください。)



## ハーネスの固定

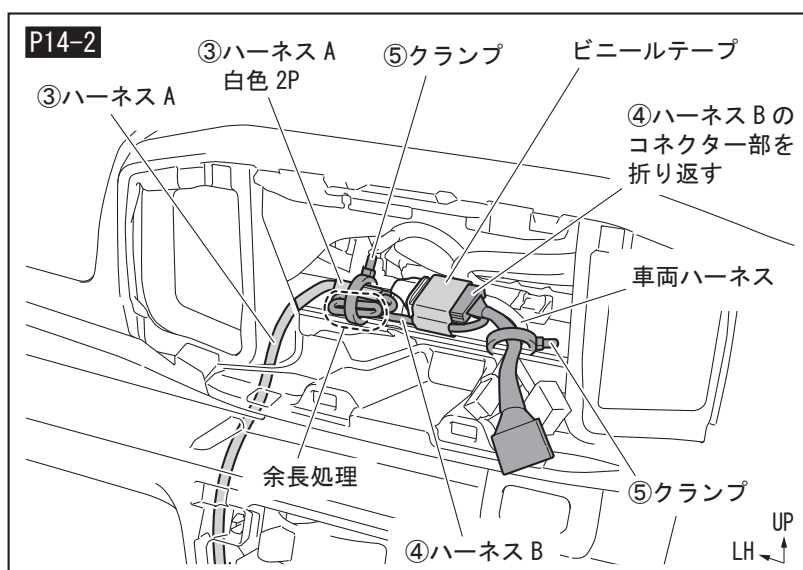


### 車両中央部の固定

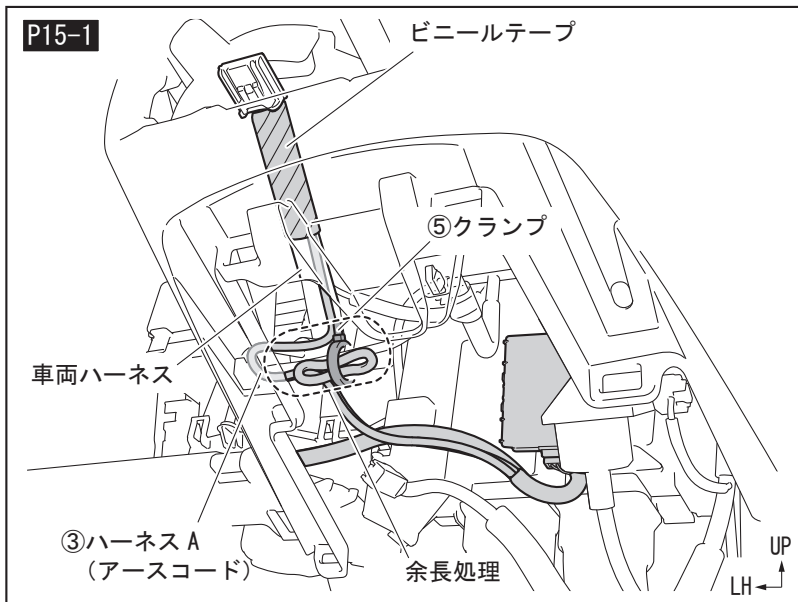
#### ⚠注意

- ・ ③ハーネスA、④ハーネスBは車両の板金エッジ、樹脂バリ及び可動部に干渉しないよう配線し、確実に固定してください。

- (1) ③ハーネスAを車両ハーネスに沿って配線し、⑤クランプ (2本) で車両ハーネスに固定します。
- (2) ③ハーネスAの白色2P行きハーネスを車両ハーネスに沿って配線し、⑤クランプ (1本) で車両ハーネスに固定します。

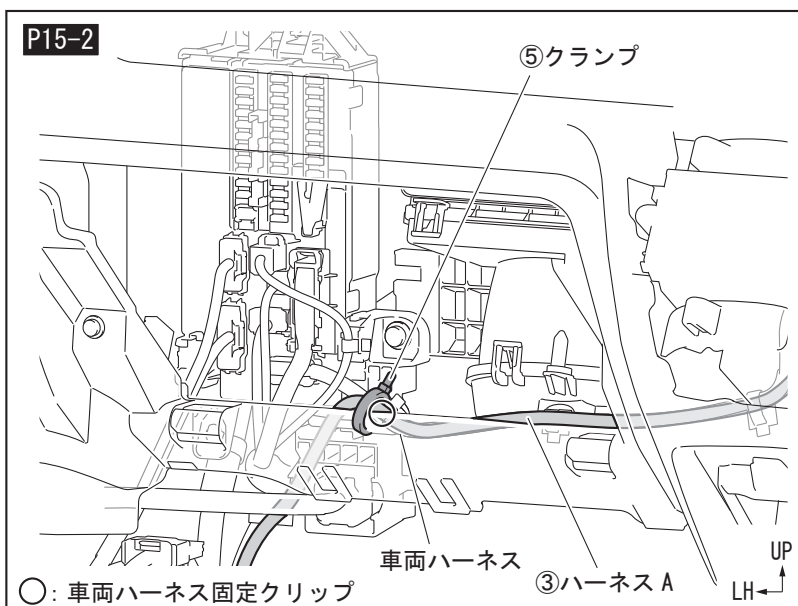


- (3) 左図を参照し、④ハーネスBのコネクタ部を折り返し、余長分を束ね、コネクタと共に車両ハーネスに⑤クランプ (1本) で固定します。
- (4) ④ハーネスBを⑤クランプ (1本) で車両ハーネスに固定後に、コネクタ部がふらつかないようにビニールテープで車両ハーネスに固定します。



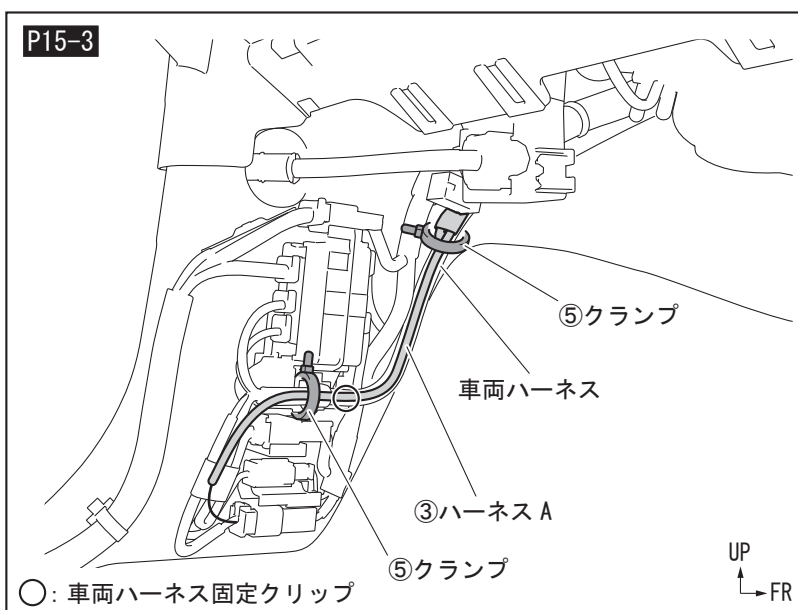
## アースコード

- (1) 左図を参照し、③ハーネスAのアースコードの余長分を束ね、車両ハーネスに⑤クランプ (1本) で固定します。

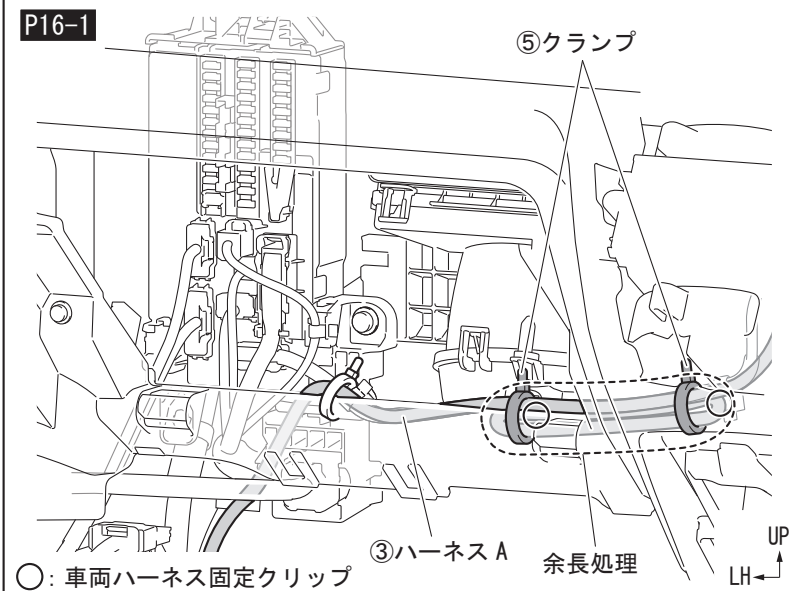


## 助手席側の固定及び余長処理

- (1) ③ハーネスAを車両ハーネスに沿って配線し、⑤クランプ (1本) で車両ハーネスに固定します。



- (2) ③ハーネスAを車両ハーネスに沿って配線し、⑤クランプ (2本) で車両ハーネスに固定します。



(3) 左図を参照し、③ハーネスAの余長分を束ね、⑤クランプ (2本) で車両ハーネスに固定します。

⚠注意

- ・ ③ハーネスAはグローブボックス可動部に干渉しないよう配線し、確実に固定してください。

## 作 動 確 認

### ⚠ 注意

- ・車両部品のコネクタ類は全て仮接続してから作動確認を行ってください。
- ・作動確認は、換気の良い場所で行ってください。
- ・作動確認時に、シフトレバーやパーキングブレーキを操作する時には、必ずブレーキペダルを踏んで車両が動かないようにしてください。
- ・エンジン始動できない場合は、一度ドアを開→閉としてから、再度始動操作をしてください。

### 👉 アドバイス

- ・作動確認時にエンジン始動等できない場合は、車両の確認、入出力信号チェックを行ってください。

[リモコンの操作方法およびLEDの点灯仕様は取扱書を参照]

メーターのコネクタなど車両部品のコネクタ類が全て接続されている事を確認します。

(1) リモートスタートハーネスの接続確認を行います。

1) コントローラーにリモートスタートハーネスのコネクタが接続されていることを確認します。

2) バッテリー (-) 端子を接続します。  
コントローラーのブザーが1回鳴ります。

### 👉 アドバイス

- ・バッテリー (-) 端子を再接続する場合は、バッテリーの (-) 端子をはずしてから10秒以上間隔を空けてから行ってください。

YES

NO

C & A 事業部発行  
『トヨタ純正 (用品) リモートスタート  
サービス資料(ピクシス エポック)標準車両  
用』に従い点検を実施してください。

(2) 車両を下記の状態にします。

- ・運転席の窓を開ける
- ・シフトレバーを「P」の位置にする
- ・パーキングブレーキを掛ける
- ・メーターの燃料残量警告灯が点灯していないことを確認する
- ・イグニッションノブからキーを抜く
- ・全てのドアを閉める (バックドアを含む)
- ・ボンネットを閉める

(3) 運転席ドアを開け、車両キーを車外へ持ち出し、  
運転席ドアを閉めます。

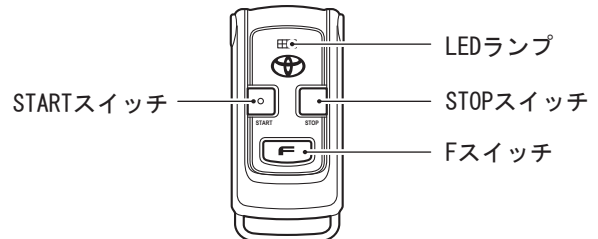
(4) リモコンでエンジンスタート操作をします。  
エンジンは始動しますか？

YES

NO

右記 (5) へ

C & A 事業部発行  
『トヨタ純正 (用品) リモートスタート  
サービス資料(ピクシス エポック)標準車両  
用』に従い点検を実施してください。



左記 (4) から

(5) リモコンでエンジンストップ操作をします。  
エンジンは停止しますか？

YES

NO

C & A 事業部発行  
『トヨタ純正 (用品) リモートスタート  
サービス資料(ピクシス エポック)標準車両  
用』に従い点検を実施してください。

(6) リモコンでエンジン始動後、エンジン暖機中に  
イグニッションノブにキーを挿入するとエンジンは停止  
しますか？

YES

NO

C & A 事業部発行  
『トヨタ純正 (用品) リモートスタート  
サービス資料(ピクシス エポック)標準車両  
用』に従い点検を実施してください。

(7) リモコンでエンジン始動後、エンジン暖機中にドアを  
開けるとエンジンは停止しますか？  
(各ドアで確認)

YES

NO

C & A 事業部発行  
『トヨタ純正 (用品) リモートスタート  
サービス資料(ピクシス エポック)標準車両  
用』に従い点検を実施してください。

作動確認終了

## 復 元 作 業

「作動確認」完了後、取りはずした車両部品を下記の点に注意し、元通りに取り付けてください。

### ⚠注意

- ・ 復元作業は、車両ハーネス及び用品ハーネスの噛み込みや、車両部品の損傷に充分注意してください。

### バッテリー復元時の注意事項

- ・ バッテリー復元作業終了後、車両機能部品に初期化が必要な部品がありますので、作業終了後には必ず初期化作業を行ってください。

## 最 終 確 認

1. ハーネス類の噛み込み及び、車両部品の取り付けミスがないかもう一度確認してください。
2. ドアロック・パワーウインド・ハザード等、電気系統に異常がないか確認してください。

